

総合地球環境学研究所 グリーンナレッジセンター（2025 年度新設）
特任准教授または特任助教の公募について

1 所属・職種及び人数

特任准教授または特任助教 1 名 （所属：基盤研究部 グリーンナレッジセンター）

2 勤務場所

（雇入れ直後）

総合地球環境学研究所

（所在地：京都市北区上賀茂本山 457 番地 4）

【交通手段】 地下鉄「国際会館」から京都バス「地球研前」下車
叡山電鉄「京都精華大前」徒歩 10 分

（変更の範囲）

変更なし

3 職務内容

（雇入れ直後）

（1）グリーンナレッジセンターの所内外の体制整備を行い、事業の企画・運営を行うこと

（2）総合地球環境研究所の運営に関すること

（3）総合地球環境学に関する研究や応募者の専門性を活かした教育・社会貢献活動等

※ 4 ページ目の「グリーンナレッジセンターの概要」も参照ください。

（変更の範囲）

（1）～（3）に加えて、（4）を行うことがある

（4）総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻総合地球環境学コースにおける授業科目
（講義）及び同コースの大学院博士後期課程学生への研究指導

4 応募条件

（1）上記職務内容を遂行するのに必要な産学公の連携・共創や教育分野における優れた知識と経験を有すること。

（2）博士(Ph. D)の学位を有すること。または、それと同等の業績を有すること。

（3）事業を立ち上げた経験、あるいは運用した経験を有すること。

5 雇用期間

2025 年 8 月以降の可能な限り早い時期から 2030 年 3 月末まで

6 応募期限

2025 年 6 月 9 日（月）午後 5 時（必着）

7 労働条件

- （１）給与・手当： 特任准教授：年俸制（840 万円）
特任助教：年俸制（600 万円）
諸手当（超過勤務手当・大学院担当手当を除く）、賞与、退職手当等の支給は無し
詳細は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構特定有期雇用職員規程に定めるところによる。
<https://www.nihu.jp/files/regulation/kh-30.pdf>
- （２）勤務形態： 始業 8 時 30 分、終業 17 時（休憩 12 時 15 分から 13 時まで）を基本とする専門業務型裁量労働制
- （３）休日： 土・日曜日、祝日、年末・年始（12 月 29 日から 1 月 3 日まで）
- （４）その他： 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入

8 提出書類

下記（１）～（６）の PDF 各 1 通を電子メールに添付して提出してください。（クラウドストレージサービス等の利用可）

- （１）履歴書（写真貼付、機構様式をダウンロードすること）
- （２）業績リスト（共著・共同制作による論文や著作、刊行物、制作物、作品等については、共著者・共同制作者等を全て記入してください。教育・社会貢献活動等については、実施内容や実施日、実施場所等を数行でお書きください。）
- （３）業績資料（主要な業績について、論文、著作、刊行物、制作物、作品等を 5 点程度提出してください。コピー可）
- （４）職務内容に関するこれまでの経験と実績（４の応募条件を満たすことも含めて記載すること。1,500 字（A 4 版 1 枚）以内）
- （５）職務内容への抱負（1,500 字（A 4 版 1 枚）以内）
- （６）応募者について意見を述べられる方 2 名の氏名及び連絡先（電話及びメールアドレス）
- ※ 1 上記の提出書類は A 4 版横書きとし、それぞれ別ファイルとしてそれぞれに氏名を記入してください。提出いただいた書類は返却しません。
- ※ 2 提出書類は当人事の審査資料としてのみ使用するもので、他には一切使用いたしません。

9 選考方法

提出書類に基づく書類選考を行い、面接選考を 6 月 25 日（水）に総合地球環境学研究所で実施します。

面接候補者には 6 月 18 日（水）に面接実施の旨を通知します。

なお、面接を受けていただく場合であっても旅費などは当方では手当ていたしませんので、ご承知おきください。

10 書類提出先（問い合わせ先）

電 話：075-707-2158

e-mail：jinji*chiky.ac.jp（*を@に変更してください。）

住 所：〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4

※メールのタイトルを「グリーンナレッジ 特任教員応募（カッコ内に提出者氏名を記入）」としてください。

※受付確認メールが3平日以内に届かない場合は、改めてメールにて送付してください。

11 その他

- ・審査の結果、業績が優れており、特に重要な役割を担うことができると判断される方を「特任准教授」として採用します。
- ・総合地球環境学研究所は、国籍や性別に関わらず、すべての個人に平等な機会を保証します。
- ・総合地球環境学研究所では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
- ・総合地球環境学研究所は男女共同参画を推進しています。
- ・応募にあたり不明な点がありましたら、遠慮なく担当者にお問い合わせください。
- ・総合研究大学院大学先端学術院については、Web ページ <https://www.soken.ac.jp/>を参照ください。

以上

総合地球環境学研究所に新しく設置される「グリーンナレッジセンター」の業務
「総合地球環境学研究所グリーンナレッジセンター設置要綱」より

（目的）

センターは、地球環境問題解決において重要な３つの柱とされるカーボンニュートラル（以下「CN」という。）、サーキュラーエコノミー（以下「CE」という。）、ネイチャーポジティブ（以下「NP」という。）を同時に実現する社会の構築に向けて、グリーン人材（グローバル・コモنزの概念に立脚し、経済活動を含め、持続可能な環境を創出する人材等）の育成及びその活用による施策立案・実践を行うために、全国の大学・研究機関に加え、産（企業等）及び公（自治体やNGO等）と連携し、グリーン人材の育成及び活用を加速化する知的インフラを共創することを目的とする。

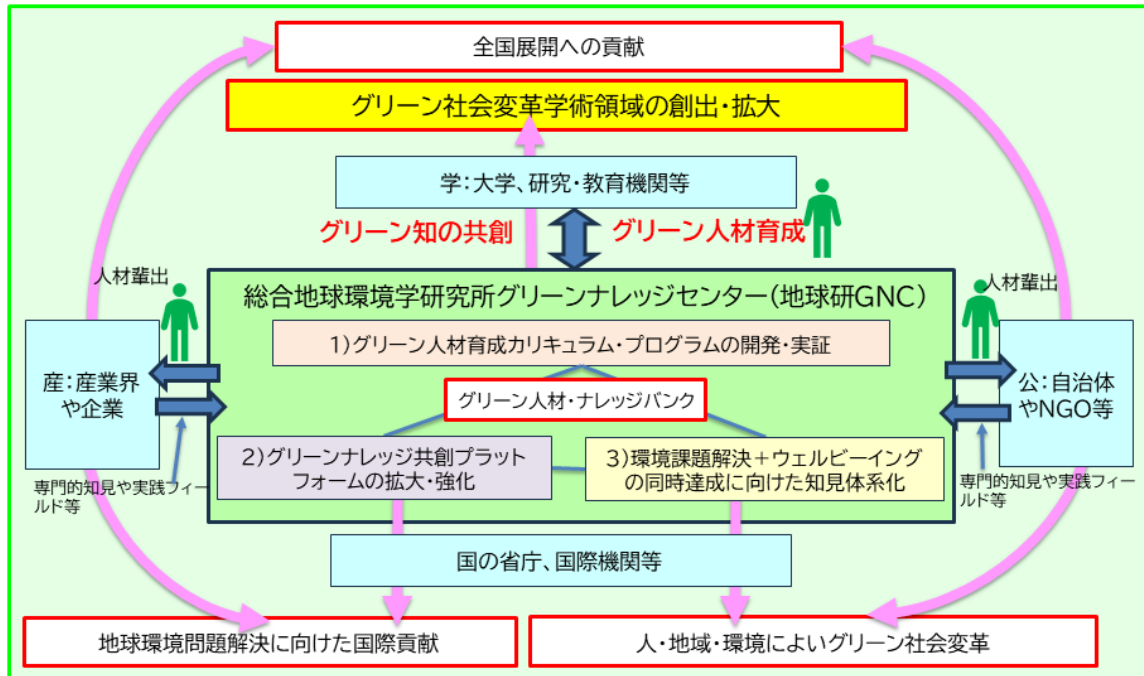
（業務）

センターは、次の各号に掲げる研究教育業務を行う。

- 一 多様な地域、産業分野及び全国の大学等と連携し、グリーン人材育成のためのカリキュラム及びプログラムの開発・実証に関すること。
- 二 プログラムの発展による人材を産公の現場で活用するためのプラットフォームとしての拡充及び海外との連携強化に関すること。
- 三 CN・CE・NP社会における、グローバル・コモنزの概念に沿ったウェルビーイングの実現に向けた知見の体系化に関すること。
- 四 その他前条の目的を達成するための必要な業務に関すること。

総合地球環境学研究所グリーンナレッジセンター(GKC)

「大学共同利用機関」「学際研究の拠点」としての特長や歴史・実績を活かし、多様なステークホルダー、地域、テーマのハブとなって「つながり」をつくり、「人づくり」を通じて、人類の共通課題である環境問題の解決、持続可能な社会の構築に貢献することを目指します。



地球研内の体制(2025年4月現在)

